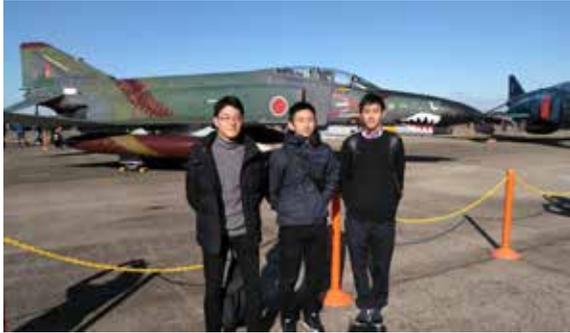


## 空自入隊予定者らを百里基地航空祭に招待



F4-EJ改(501飛行隊所属)の特別塗装機前で記念撮影



パーティカルキューピッドを見上げる参加者

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所(所長 近藤一空尉)は11月30日(土)、一般曹候補生(航空)に合格した2名と受験予定者1名を航空自衛隊百里基地航空祭の特別公開に招待した。当日は青木伸夫広報官の引率のもと早朝に事務所を出発し、百里基地(茨城県)を目指した。

会場に到着すると、3名は百里基地の広さに圧倒されていた。駐機場エリアに勢ぞろいしていたF-15やF-4等の航空機を見つけると「わあ!」と歓声が上がった。参加者たちは色々な機体に目を奪われ、早速航空機を撮影したり機体の話で盛り上がりたりしていた。退役が決まっているF-4の特別塗装機の前で記念撮影を行うと「貴重な写真になりますね」と嬉しそうだった。

またUH-60等による捜索救難展示では、救急救命士の資格を所持している参加者から「救急救命士の能力を活かせる部隊ですよ。自分もこの部隊で働きたいです」と決意が語られた。ブルーインパルスの飛行を見ていた他の参加者からは「初めて本物の飛行を見ました。感激です!」と目を輝かせていた。晴れ渡った空のもとで行なわれた各航空機の飛行展示は、参加者たちの目にしっかりと焼き付いた様子だった。格納庫エリアの見学では、偵空隊の装備品や救急用品の展示、VAD(S(対空機関砲)や地对空誘導弾、ペトリオットシステムを間近で見学した。航空自衛隊の装備品について理解も深まり、参加者たちは充実した時間を過ごした。

市ヶ尾募集案内所は「航空自衛隊を理解してもらえ、有意義な基地見学となった。航空自衛隊として勤務する未来の姿を想像してもらえたと思う。今後フォローを継続し、確実に入隊へつなげていきたい。」としている。

## 「担当した入隊者が広報官となり、募集現場で活躍中！」 神奈川地方協力本部の募集案内所



横浜中央募集案内所で勤務中の  
平原所長(左)と榊山広報官(右)

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所(所長 平原一陸尉)で活躍している広報官を紹介する。当募集案内所の榊山 智樹3空曹は、平成21年に同相模原地域事務所に志願し、翌年春2等空士として航空自衛隊熊谷基地新隊員教育隊に入隊した。その後、航空自衛隊芦屋基地での初級調達課程を卒業、航空自衛隊第1補給処東京支所(十条)で調達員として勤務し3等空曹に昇任した後、平成30年3月に横浜中央募集案内所に配置された。そして現在2年目の若手広報官として学校訪問や市街地広報などの募集業務に積極的に動いている。当時、榊山3空曹が志願した相模原地域事務所の所長だった平原一陸尉が今年8月に横浜中央募集案内所に異動してきて、所長と広報官という立場で勤務することとなり、厳しい募集環境の中、力を合わせて日夜募集業務に励んでいる。榊山3空曹は、「自分を担当していただいた所長と同じ募集事務所で勤務できることを想像もしていなかったが、こうやって一緒に働くことができ、感謝です」と感想を述べてくれた。

横浜中央募集案内所は「部隊も訓練等で忙しい中、地方協力本部に優秀な若い隊員を派遣していただいたことに感謝しつつ、今後も連携しながら国防に情熱を持った若者を一人でも多く入隊に導けるよう努力していきたい」としている。